お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。
- 絶対に行わないでください。
- 必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止
- 器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因）
- 器具やランプを布や紙などで覆わない。（可燃物を被せて使うと火災の原因）

禁止
- 器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。（火災・感電の原因）
- ひび割れの発生しているグローブを使わない。（落下の原因）

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止
- お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。（火災・感電の原因）
- ランプに塗料などを塗らない。（ランプが過熱・破損してけがの原因）

厳守
- 明るく安全にお使いいただくために半年に１回の保守・点検を行う。

ランプ交換・器具の清掃　⚠警告 電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

ランプ交換

ランプ交換は、適合ランプを確認の上、行ってください。

形名	適合ランプ（別売）
HC1008 HC1009	M（F）100・L-J2/BD-PS H（F）80 ～ 100 BHGF100/110V100W（安定器不要）
HC1010 HC1011	M（F）100・L-J2/BD-PS H（F）80 ～ 100
HC2506 HC2507 HC2508 HC2509	HCI-BT200 ～ 250W/F/L/BUD M（F）250・L-J2/BD-PS NH180 ～ 220（F）（D）・L NH180 ～ 220（F）TW・L H（F）200 ～ 250 BHF200/220V250W（安定器不要）
HC4011 HC4012 HC4013 HC4014	HCI-BT200 ～ 400W/F/L/BUD M（F）250 ～ 400・L-J2/BD-PS NH180 ～ 360（F）（D）・L NH180 ～ 360（F）TW・L H（F）200 ～ 400 BHF200/220V250 ～ 300W（安定器不要）

※器具としては上記ランプが適合しますが、ご使用にあたっては別途手配の安定器に適合するランプをお選びください。三菱ランプをご使用ください。

⚠注意
- ○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない（高温のためやけどの原因）
- ○ランプをソケットに確実に取付ける（取付けが不完全な場合落下の原因）
- ○使用済みのランプを不用意に割らない（ガラスが飛散してけがの原因）

⚠警告
- ○ランプ交換は器具、安定器との適合とランプ使用条件を確認して行う（ランプ破損・発火の原因）
- ○器具内部・ランプを水洗いしない（電気部品の浸水で、絶縁不良による感電や器具腐食による落下の原因）

清掃

○汚れを落とす場合は、やわらかい布にぬるま湯または薄めた中性洗剤をひたしよく絞ってからふきとってください。洗剤が残らないように乾いた布でふきとってください。

○次のものは使用しないでください。
・みがき粉やたわし　・殺虫剤　・熱湯
・シンナーやベンジンなどの揮発性のもの
・アルカリ性洗剤　・薬品

照明器具の寿命について

●照明器具には寿命があります。設置して８～１０年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度 30℃,1 日 10 時間点灯,年間 3000 時間点灯です。

●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
●３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証について

■保証期間は商品お買上げ日より１年間です。ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は３年間です。ランプ、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

連絡先
三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729（営業本部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

E762Z433H51

MITSUBISHI
三菱 HID 器具

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

ポールライト

形名 HC1008 HC1009 HC1010 HC1011 HC2506 HC2507 HC2508 HC2509 HC4011 HC4012 HC4013
［公共施設：HST5A-180 ～ 300（CML,M,NH）］
HC4014

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また アフターサービスもできません。

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。
- 絶対に行わないでください。
- 必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止
- 引火する危険のある雰囲気で使用しない。（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）（火災の原因）
- 器具取付けの際、電線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）
- 配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。（絶縁破壊により感電・火災の原因）
- 器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因）
- 上向取付専用器具です。横向き、下向き取付けしない。（火災・感電・落下の原因）
- ひび割れの発生しているグローブを使用しない。（落下の原因）
- 適合ランプ以外のランプを使用しない。（ランプの破損・火災の原因）

禁止
- 安定器別置型です。適合安定器以外の安定器を使用しない。（ランプの破損・火災の原因）
- ポールを含めた全長が 6m を越えるような状態や風速 60m/s を越える強風が吹く恐れのある場所では使用しない。（落下の原因）

厳守
- 施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従って行う。
- 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）
- 電源の接続は取扱説明書に従い行う（接続が不完全な場合、発熱により火災の原因）
- 接地工事は電気設備の技術基準に従い行う（接地が不完全な場合、感電・火災の原因）
- 取付方向指示のある器具は、本体表示ならびに取扱説明書に従い行う（指定以外の取付けは、器具落下・浸水による感電・火災の原因）

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止
- 高温（35℃を超える）、粉じん、強い振動・衝撃のある場所で使用しない。（落下・感電・火災の原因）
- 腐食性ガスの発生する場所で使用しない。（腐食による落下の原因）
- 風呂場など湿気の多い場所で使用しない。（火災・感電の原因）

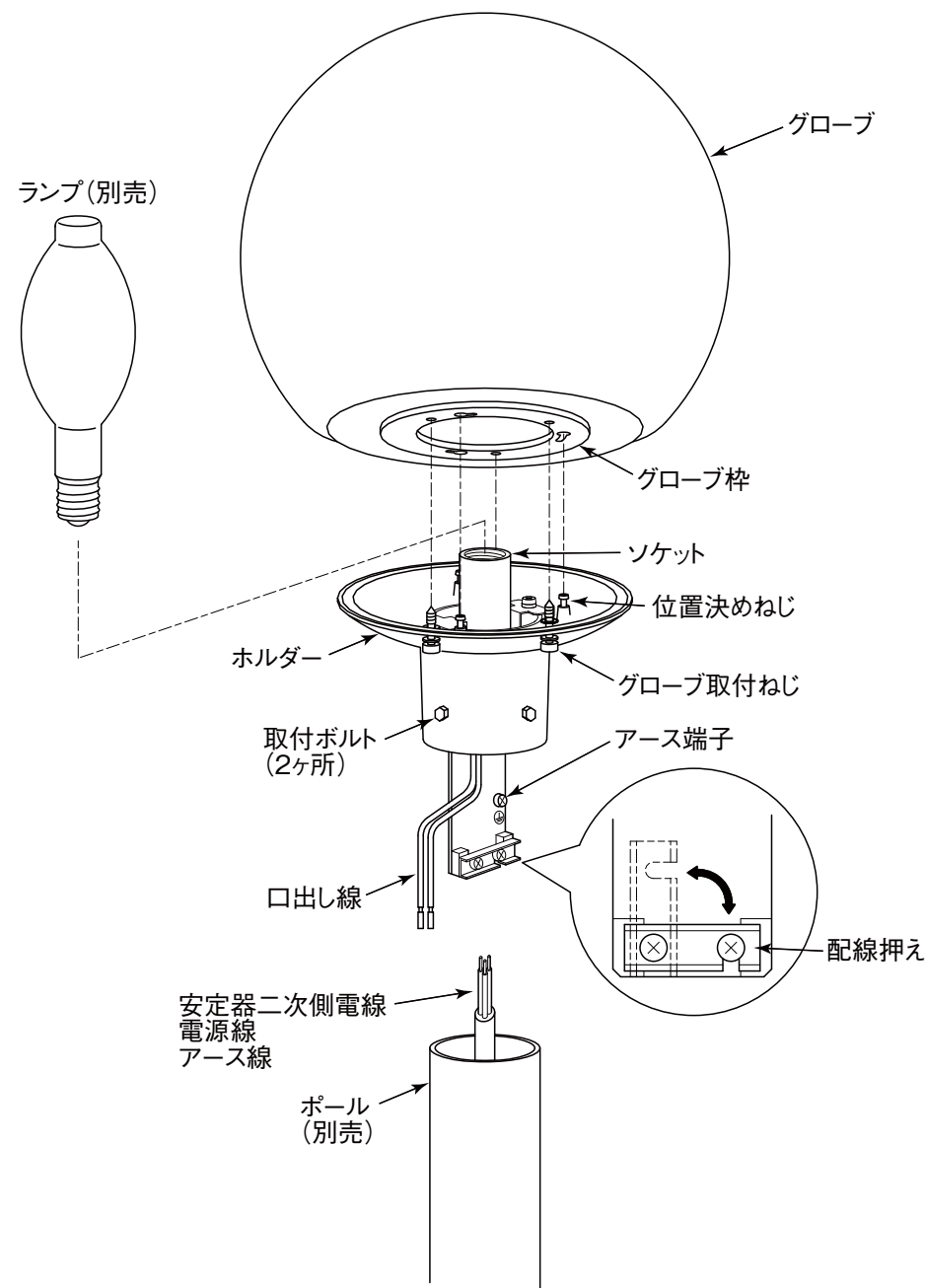
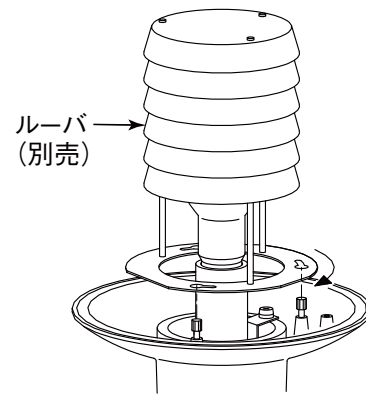
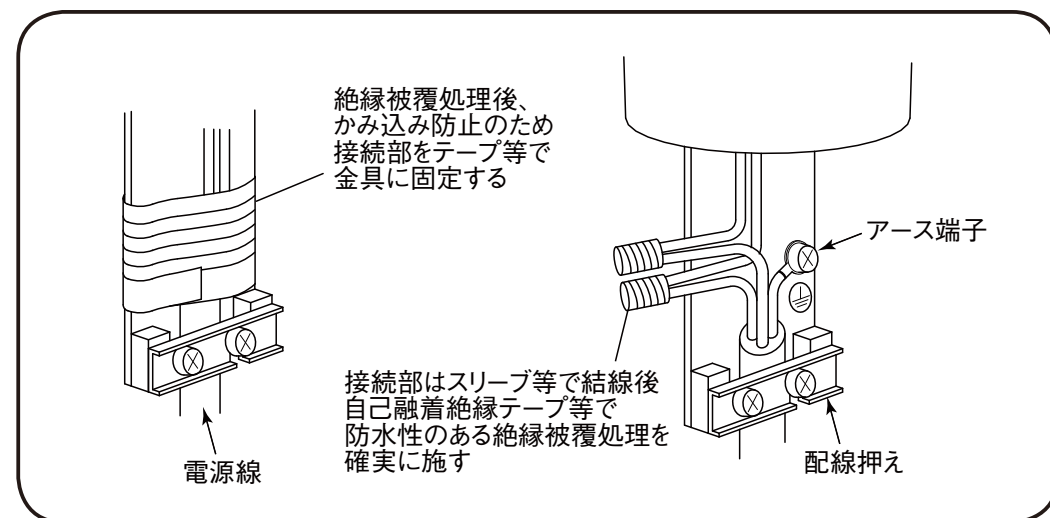
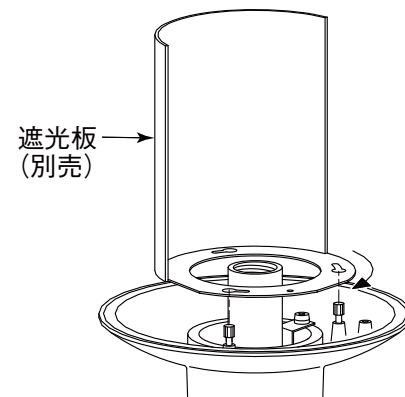
禁止
- 保守による点灯確認以外の日中点灯をしない。（火災・感電の原因）

厳守
- 周囲温度は－ 10 ～ 35℃の範囲内で使用する。（火災・感電の原因）
- 施工およびメンテナンスはバケット車などで行う。（けがの原因）

お願い

■周囲温度は－ 10 ～ 35℃の範囲でご使用ください。　■電源電圧は定格± 6%の範囲でご使用ください。

各部のなまえと取付けかた

⚠警 告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）

1 ポールに安定器二次側電線、電源線、アース線を通線する

○電源線は 1.25mm² または 2.0mm² の３芯キャブタイヤケーブル（2PNCT）をご使用ください。

2 器具口出し線に安定器二次側電線、電源線、アース線を接続する

(1) 電気設備の技術基準省令第７条に従い、電源線の高電位側に器具口出し線の青線、低電位側に白線を圧着端子、スリーブ等を用いて確実に接続する。
接続部は自己融着絶縁テープ等で防水性のある絶縁被覆処理を確実に施す。

⚠警 告
○接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因となります
○接続部の防水処理が不完全な場合、絶縁不良による漏電、感電の原因となります

(2) アース端子を使用して D 種（第３種）接地工事を行う。

⚠警 告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う
（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因となります）

(3) 安定器二次側電線、電源線、アース線はケーブルのシース部を配線押えで確実に固定する。

⚠警 告
押え込みすぎると、絶縁破壊による感電の原因となります。

3 ホルダーをポールに取付ける

(1) 電線をポール内部に収納し、電線をかみ込まないよう、ホルダー開口部にポールを挿入する。

⚠警 告
電線のかみ込みは、漏電や感電の原因となります。

(2) ホルダーの取付ボルト（２ヶ所）を工具を用いてしっかりと締め付け、ポールに確実に固定する。
ホルダー取付ボルトの締付トルクは 200N･m 以下としてください。
縦半分アルミ蒸着グローブ機種および遮光板を使用する場合は、固定前に位置合わせを行う。

⚠警 告
取付けが不完全な場合落下の原因となります

4 ランプを取付ける

○ソケットに適合ランプを取付ける。

⚠警 告
適合ランプ以外の使用は、火災の原因となります。

5 オプション（ルーバ、遮光板）［ 別途 ］の取付け

【HC2506、HC2507、HC2508、HC2509 および HC4011、HC4012、HC4013、HC4014 の 180W ～ 250W ランプ使用時のみ】
○オプションの固定金具とホルダーをオプションに付属された M4 ねじで確実に固定する。（3 ヶ所）

6 グローブをホルダーに取付ける

(1) グローブ枠のダルマ穴（3 ヶ所）にホルダーの位置決めねじ（3 ヶ所）を合わせ、（乳白グローブ機種 HC1009、HC2507、HC4012 の場合、ホルダーに表示された▲印とグローブに表示された▼印を合わせる）グローブを落とし込み、ホルダーに表示された開閉方向に左右スライドさせる。

(2) グローブ取付ねじを締め込み、工具を用い確実に固定する。

⚠警 告
取付けが不完全な場合落下の原因となります